

# 文芸の世界

川柳  
(575)

口寄せに通訳欲しい恐山  
 褒められたパークゴルフで猛打賞  
 幸せにしますと成田で早や離婚

川代 三智男

抑えてた気持ちだし抗議する  
 母さんの通訳がいる幼児の言葉  
 悲しいねいじめする子もさされる子も

嵯峨待女

川柳愛好会  
 八月例会作品

笑み浮かぶ秘めたる裏はほめ殺し  
 切れやすくかんしゃく玉の若者よ  
 これ切りと言いつる端に隠し酒

稲村綾子

逢えぬ日の続けば思いむき出しに  
 通訳がいなくてお手あげ孫の守  
 言い切つて不安の黒い雲が湧く

佐藤秋峰

銃音でなくてよかった遠花火  
 独り占めしようか美人の通訳を  
 ほめ言葉その気に取って馬鹿を見る

三上翠香

忘れてた過去にいじめの二度三度  
 むき出しの言葉から出る赤信号  
 ムカムカを言い切ること晴れる胸

加差野 静浪

通訳を見様見まねの手話で足す  
 言い切つて老父は我が子に身を委ね  
 むき出しになったホオズキ赤くなり

深渡汀女

## 「一杯飲むのが楽しみ！」

熊谷 六蔵さん（緑区・78歳）



《228》

……戦争は経験していただきます。自動車部隊の配属だったために食料の輸送だの弾薬の輸送もありやってきました。……当時の朝鮮や満州は日本国だったというごときで、なんぼう兵隊経験があつても恩給をもらつてみなござんすつ。……子どもは男三人と女二人もうげます。高校さ入れんどぎは大変苦労すますたども長女は静岡県、息子さんどうは神奈川県で立派に会社勤めをしています。……おれの楽しみは、まぎ割りをした後に一杯飲むごとき娘が一人そばにいだけんご（笑）。

## 真心の献血ありがとうございます

8月21日、村内4か所で行われた全血献血には次の27人の方々の協力がありました。ありがとうございます。

- ▶特別養護老人ホームうねとり荘前（5人）  
 大村 克伸<sup>(2)</sup> 赤坂 訓<sup>(3)</sup> 坂本 良子<sup>(1)</sup> 金子 晴美<sup>(1)</sup>  
 佐藤美智子<sup>(1)</sup>
  - ▶(有)まるに前（3人）  
 石宇 靖<sup>(7)</sup> 道下 孝男<sup>(9)</sup> 宇部 治郎<sup>(8)</sup>
  - ▶普代漁協前（7人）  
 藤島 省治<sup>(26)</sup> 大上 一弘<sup>(37)</sup> 道上 哲也<sup>(66)</sup> 道下 賢治<sup>(19)</sup>  
 下道 勇次<sup>(34)</sup> 長沢 信明<sup>(17)</sup> 畠山 博<sup>(11)</sup>
  - ▶村保健センター前（12人）  
 泉山 沙織<sup>(5)</sup> 菅野 伸二<sup>(15)</sup> 坂下 広見<sup>(66)</sup> 三船 雄三<sup>(118)</sup>  
 大村 修<sup>(5)</sup> 正路よし子<sup>(5)</sup> 道下 勝弘<sup>(10)</sup> 北田 史人<sup>(3)</sup>  
 深渡 理隆<sup>(9)</sup> 三船 彰久<sup>(8)</sup> 中村 春美<sup>(11)</sup> 深渡 定幸<sup>(102)</sup>
- （太字は400ミリリットル献血者、印は献血回数です。敬称略）